

小児科研修評価表 1

研修医氏名 印

指導医氏名 印

研修期間 自 年 月 日  
至 年 月 日

〈研修目標の達成度〉

各項目の評価基準：

- 達成できた（80%以上） …………○  
 もう少しで達成できる（60%以上 80%未満） …………△  
 達成できなかった（60%未満） …………×

行動目標	研修医	指導医
① 小児の発育発達の基本（身長・体重・頭囲・精神運動発達など）を理解する。		
② 小児の系統的な診察ができる。		
③ 病歴を適切に記載することができる。		
④ 指導医を中心にチームの一員として診療に当たることができる。		
⑤ カンファレンス・回診などで、適切なプレゼンテーションを行い、討議ができる。		
⑥ 関連する科に適切にコンサルテーションができる。		
⑦ 疾患の重症度を判断できる。		
⑧ 小児の疾患について適切な医療面接（小児および保護者との面接・病歴の聴取・疾患および検査結果の説明）ができる。		
⑨ 小児の薬用量、薬の使い方について基本的な知識を身に付ける。		
⑩ 小児の発熱の原因を鑑別することができる。		
⑪ かぜ症候群、咽頭炎、扁桃炎などの上気道感染症の診断ができ、治療方針がたてられる。		
⑫ 気管支炎・肺炎などの下気道感染症の診断ができ、治療方針がたてられる。		
⑬ 気管支喘息の診断・重症度の判断ができ、治療方針がたてられる。		
⑭ 嘔吐下痢症および脱水症の診断ができ、食事療法・輸液療法などの治療方針がたてられる。		

⑮ 小児の発疹性疾患（麻疹・風疹・水痘・いわゆる夏風邪・溶連菌感染症など）の予防および診断ができ、治療方針がたてられる。		
⑯ 痙攣の救急処置ができ、原因を診断し、適切な治療方針がたてられる。		
⑰ 尿路感染症の診断ができ、治療方針がたてられる。		

〈経験目標の達成度〉

各項目の評価基準：

達成できた（80%以上）……………○

達成できなかった（80%未満）……………×

経験目標	研修医	指導医
入院患者の受け持ち	5例以上	
小児救急患者の診療	5例以上	
カンファレンスなどでのプレゼンテーション	5例以上	
小児の採血	5例以上	
小児の輸液ルート確保	5例以上	
上気道感染症	5例以上	
下気道感染症	5例以上	
嘔吐下痢症・脱水症	5例以上	
尿路感染症	2例以上	
発疹性疾患	2例以上	
気管支喘息	5例以上	
痙攣性疾患	2例以上	

指導医の評価

(1) 行動目標 可 不可

(2) 経験目標 可 不可

(3) 研修参加 可 不良

(4) 研修態度 可 不良

総合評価 ほぼ達成できた あと一步 達成できなかった